

t o c c o . サイドタックブラウス

(材料) ■表布 (前後身頃・袖・見返し・前後スカート)

※おすすぬ生地

(薄〜普通・少し厚地の綿やリネン・ウール混・ダブルガーゼなど)

■ボタン1個

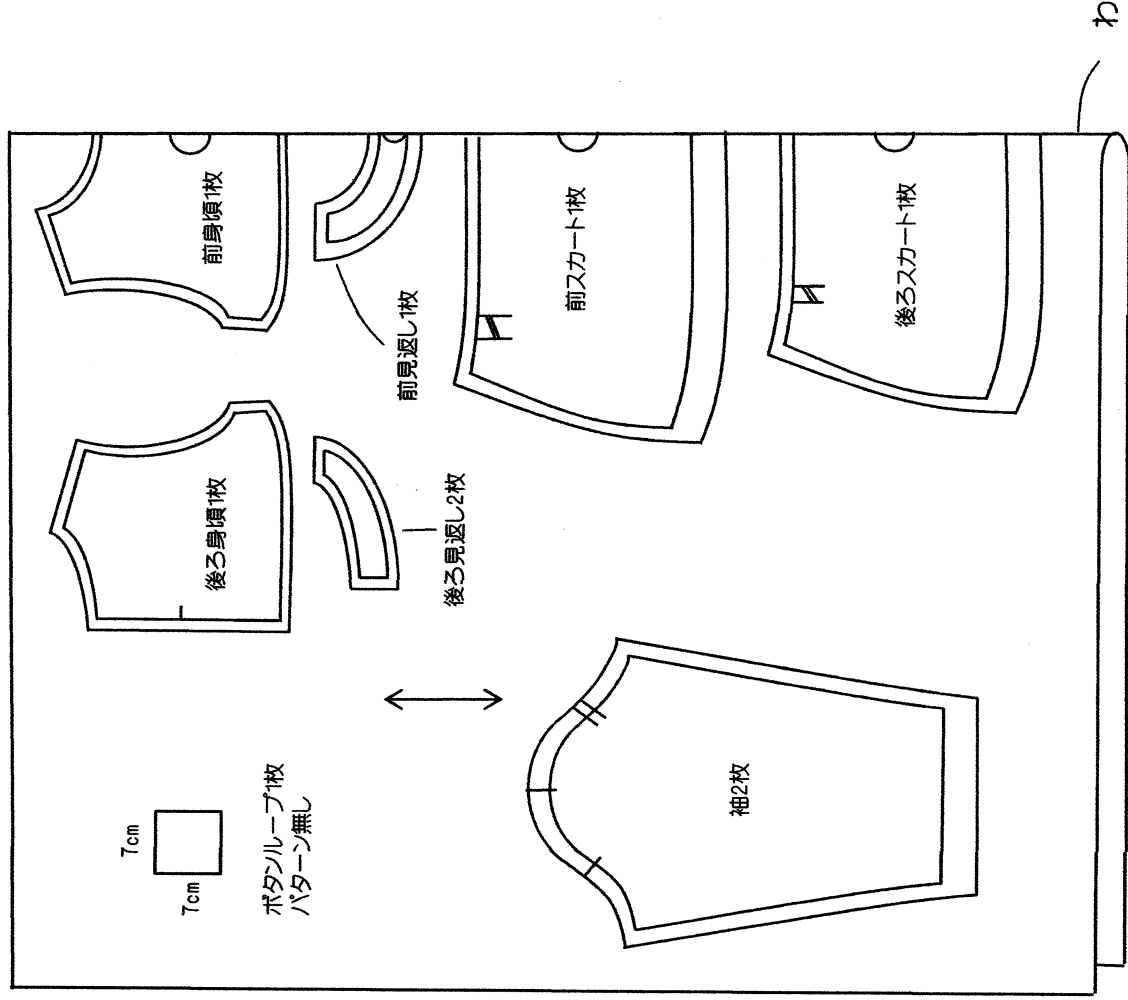
用尺 (参考)

サイズ	表布	
80	110cm幅	90cm
90	120cm幅	95cm
100	130cm幅	100cm
110	140cm幅	105cm
120	140cm幅	110cm

- ★型紙をカットし貼り合せ裁ち方図を参考に型紙を配置する。
- ★後ろ中心の開き止まりに印をつける
- ★前後スカートのタック位置に印をつける
- ★袖の合印をつける
- ★布をカットする

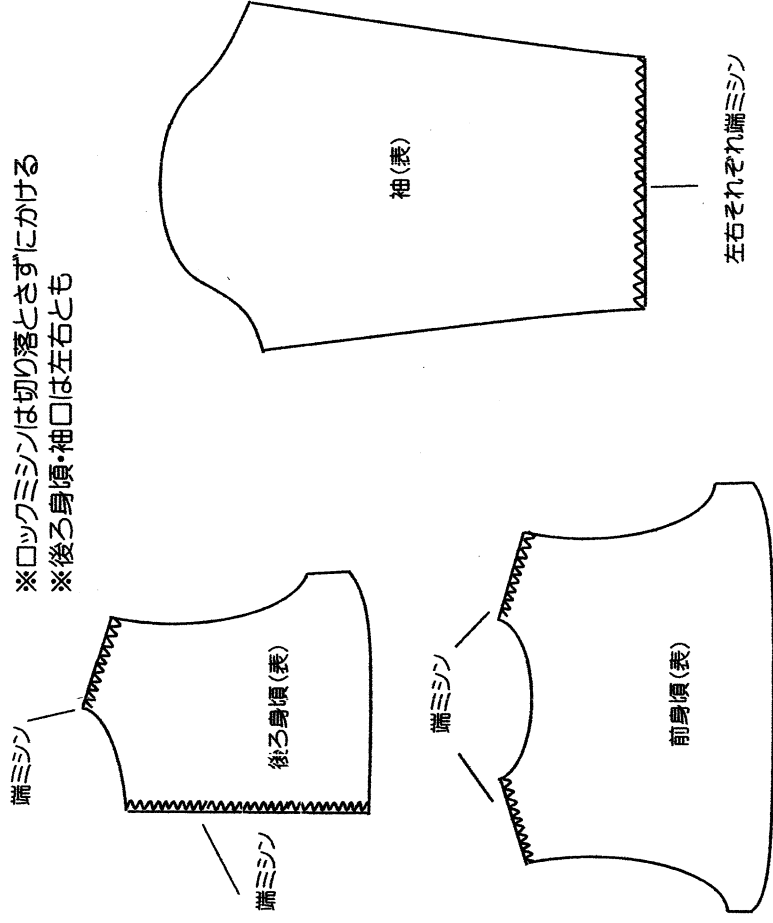
\*\*\*\*\*

裁ち方図



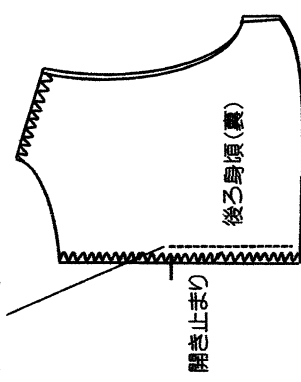
1. 端ミシンをかける (前後身頃肩・後ろ身頃中心・袖口)

※ロックミシンは切り落とさずにかける  
※後ろ身頃・袖口は左右とも

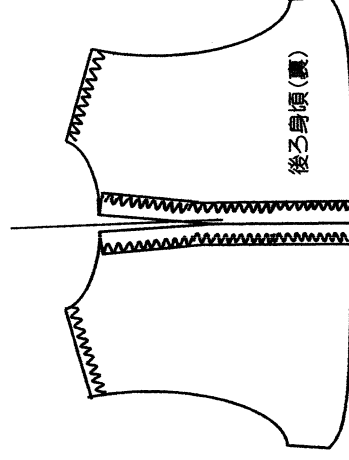


2. 後ろ身頃を中心を縫い、前後身頃の肩を縫い合わせる

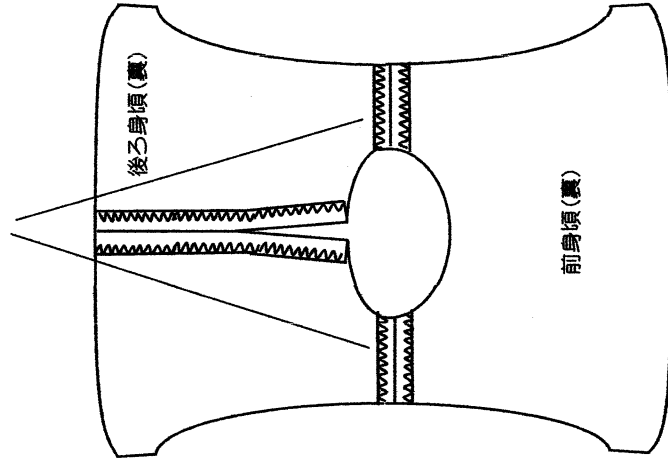
① 後ろ身頃を中心の開き止まりまでをミシンで縫う



② 縫い代を割りアイロンをかける

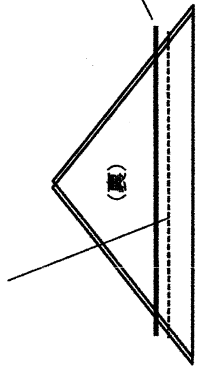


③ 前後身頃を中表に合わせ肩を縫う (縫い代は割りアイロンをかける)



### 3. ループを作る

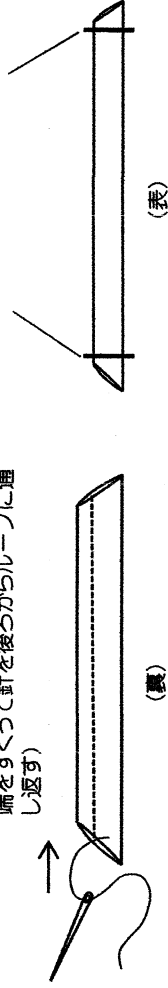
①ループ布を三角の中表に折り輪の所から0.5cmの所へミシンをかける



②縫い代側0.3cmを残しハサミでカットする

④表に返したらループの端をカットする

③ループ返しなどで表に返す(又は太めの針に糸を通し玉止めをし、端をすくって針を後ろからループに通し返す)

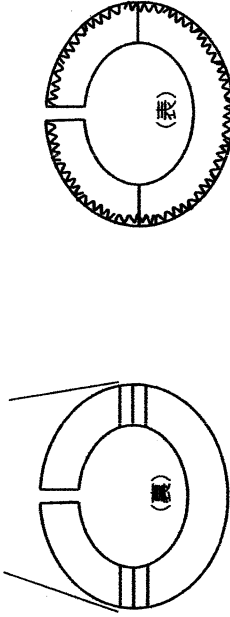


### 4. 見返しを作り衿ぐりと縫い合わせる

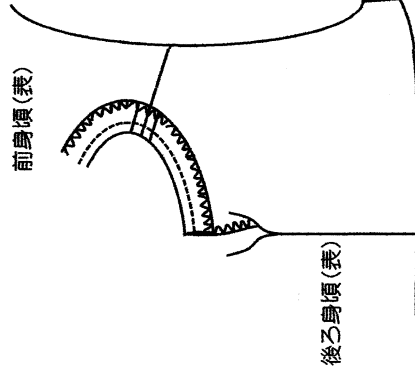
①前後の見返しを中表に合わせ縫い合わせる(縫い代は割りアイロンをかける)

②見返しの外側一周に表からジグザグまたはロックミシンで端ミシンをかける

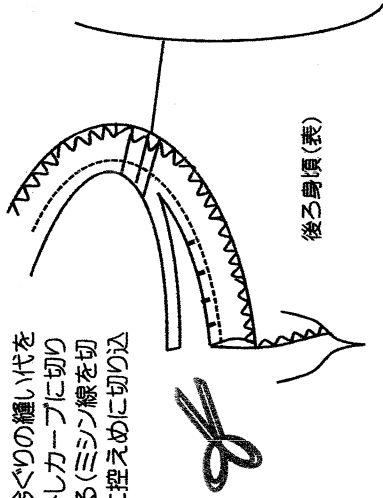
③見返しと衿ぐりを中表に合わせ、ぐるりとミシンをかける(縫い代1cm)



※後ろ身頃の開き部分のアイロン線は一度開き、見返しの端と揃えてミシンをかける



④見返しと衿ぐりの縫い代を3~4mmカットしカーブに切り込みを入れる(ミシン線を切らないように控えめに切り込みを入れる)

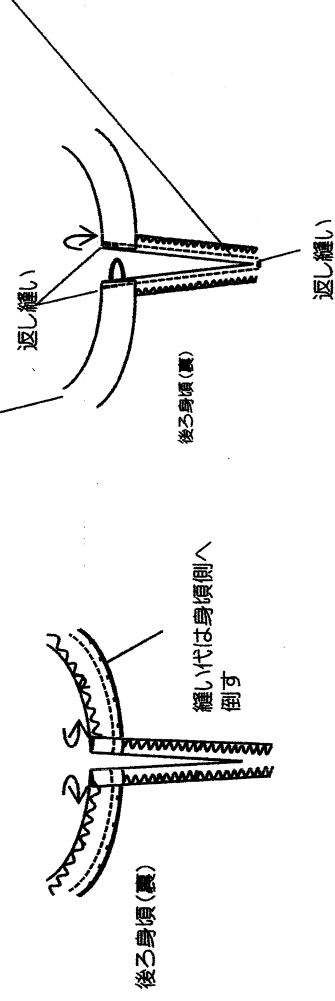


### 5. 衿と後ろ「開き」の始末をする

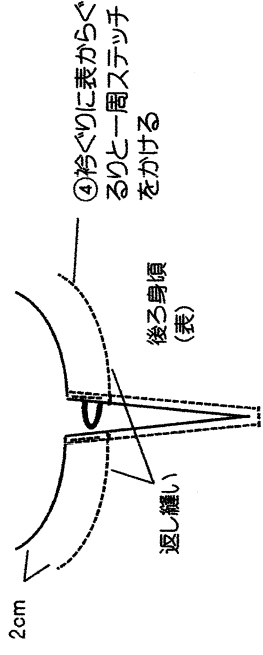
①4-3で開いて縫い合わせた見返しを元へ折りたたむ

②次に見返しを身頃側へ折りたたむ

③右後ろの見返しにループを挟み表から「開き」部分にステッチをかける(0.2cm)  
※ボタンループの大きさはボタンのサイズに合わせて付けてください

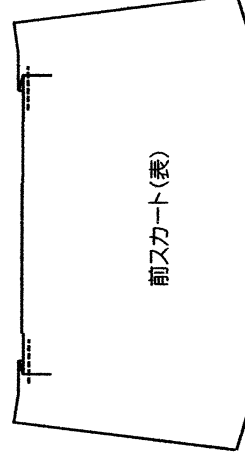


④衿ぐりに表からぐるりと一周ステッチをかける



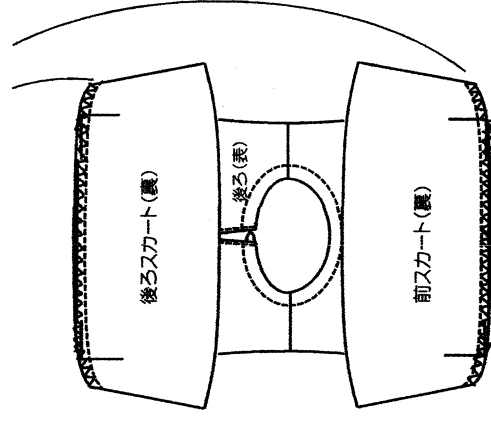
### 6. スカートにタックを入れて身頃につける

①前スカートの表からタックを外方向へたたみ、ミシンで仮止めをする



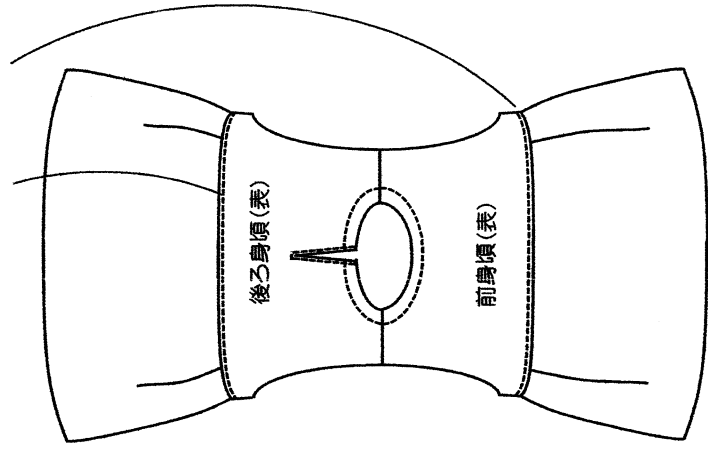
(タックの印の高い方から低い方へ向かってたたむ)

③前後身頃にそれぞれスカートを中表にし縫い合わせ、縫い代2枚を一緒にジグザグ又はロックミシンをかける



②後ろスカートも同様にタックをたたみ、ミシンで仮止めする

④縫い代を身頃側へ倒し、身頃側に表からステッチを入れる(0.2cm)

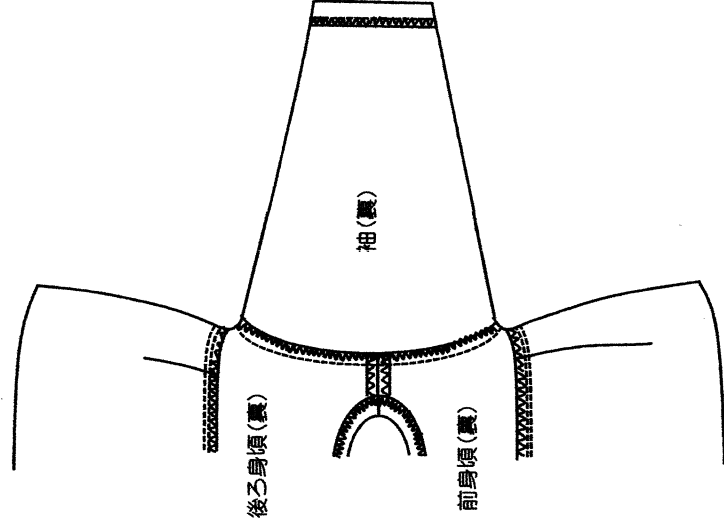


### 7. 身頃に袖をつけ、脇を縫う

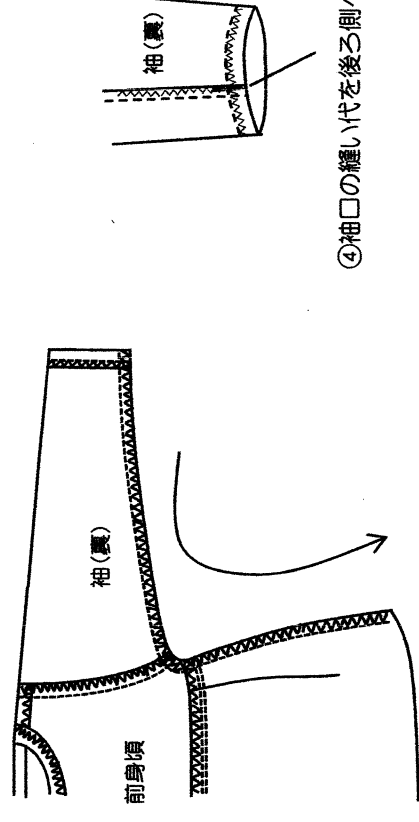
①袖口を出来上がり2つ折りにし、端から0.2cm、さらに0.3cmの所へ表からステッチを入れる



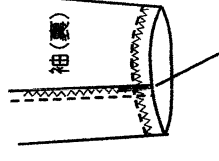
②身頃と袖の合印を合わせながら中表に合わせて袖を縫う(左右それぞれ)  
※縫い代2枚を一緒にジグザグ又はロックミシン



③袖口から裾までの脇を縫い合わせる(左右それぞれ)  
※縫い代2枚を一緒にジグザグ又はロックミシン

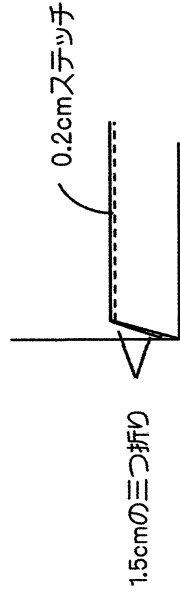


④袖口の縫い代を後ろ側へ倒してステッチで押さえる



### 8. 裾の始末をする

①裾の始末をする(1周ぐりと縫う)



表に戻し、後ろにボタンを付けて完成

